

会 議 録

会議名	相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和元年度 理事会			
事務局	渉外課 電話042 - 769 - 8207 (直通)			
開催日時	令和元年8月9日(金) 午前10時～10時40分			
開催場所	市役所本庁舎本館2階 第1特別会議室			
出席者	委員	20人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	8人(渉外部長、渉外課長、他6人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	1 開会 2 議 題 (1) 本年度の要請について (2) 視察・調査について 3 閉会			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

本村会長あいさつ

2 議題

(1) 議題(1) 本年度の要請について

事務局から、資料 1-1、1-2 及び 1-3 により、本年度要請の実施日、要請先、要請書案及び要望事項要約案について説明した。意見等のあった箇所については、事務局一任により修正することで承認された。

7日夕方5時前に、南区旭町の踏切付近でオスプレイが飛行しているのを目撃した。新聞報道はあったが、市は飛行について把握しているのか。また、このオスプレイは、横田基地所属の空軍機なのか。

神奈川県を通じて南関東防衛局から厚木基地に離着陸したオスプレイについて情報提供があったものの、飛行経路については示されなかったため、横田基地所属の CV-22 なのか、横田基地から飛来したのかなどは不明である。

最近、市内でオスプレイが目撃されることが多く、既成事実化しているように感じる。市民の不安もある中では、南関東防衛局に強く言う必要があるのではないか。要請書の記載については、市内でオスプレイの飛行に関する目撃が増えていることなど、表現を事務局で検討してもらいたい。

- 周辺住民に不安を与える訓練は行わないことを要請項目としているが、先般、自衛隊が警護訓練を実施することについて情報提供があったが、市民から不安や苦情は寄せられたか。

自衛隊による警護訓練については、8月22日、23日に実施するに当たり、事前の情報提供があったもの。自衛隊には、市民に不安を与える訓練を行わないよう、強く申し入れたところである。

また、市民からの苦情については、今のところ受けていない。

要請書には、基地の返還と共同使用が記載されている。日米地位協定においては、共同使用が不明瞭である。事務局では、共同使用の位置付けなど、どのように考えているのか。

基地については、全面返還を基本として国や米軍と協議を進めている状況であり、協議の中で共同使用が選択肢として示され、市民利用の具体化として対応しているもの。

共同使用については、整備費は必要だが、返還とは違い、土地の取得費用が掛からないなど、メリットがあることも理解している。今後の基地の返還交渉

においては、市民にメリットとなる取組について検討してもらいたい。

資料3ページの 1(1)など全文が削除されている項目があるが、要請の役割が終わったものなのか。削除理由を説明してもらい。

相模総合補給廠の一部返還地については、返還が実現してからしばらくの間は、防衛省が管理をしていたが、現在では、財務省が管理を所管している。本市では、土地の処分条件やまちづくりの構想などについては、まちづくり担当部局が所管し、財務省との協議を進めている。当該要望箇所については、基地対策の観点では、基地返還の取組が終わったものと考えており、本年度から項目を削除することを御提案したところである。

返還4事案についての記載があるが、例えば、相模原住宅地区のウォーターフィルタープラントについては、地元住民は公園として利用したいと考えている。返還などを進める上で、返還後のビジョンを目に見える形で示しながら、協議していくことが必要ではないかと思うがいかがか。

南関東防衛局とは、簡易的ではあるが、返還後の利用プランなどを示しながら事務レベルで協議を行っているところである。返還に向けた課題などを整理しながら、協議を進めていきたいと考えている。

返還に係る整備等については、全額国庫負担とすることを求めているが、現状の負担割合はどのようになっているのか。

実施する事業により、利用する補助メニューが違うため、一律ではないが、事業の性質により一定程度の補助を受けて実施している。

- 汚染物の除去を国の責任で行うことを求めているが、補給廠の共同使用区域や返還地での土壌調査については、どちらの負担で行ったものか。

共同使用区域の土壌汚染調査については、共同使用区域の整備の主体が本市であることから、本市の負担で実施した。一部返還地の調査は、返還前の条件調査として、防衛省の負担で調査を実施したところである。

(2) 議題(2) 視察・調査について

事務局より視察・調査の案について説明し、事務局案のとおり承認された。

- 視察の対象者はどうなっているのか。

実行委員の皆さんに参加の可否を確認し、希望者で実施する予定である。

3 閉会

川崎副会長あいさつ

以上

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 理事会 出欠表

出席者 20 人
 欠席者 9 人
 合計 29 人

No.	役職名	団体役職名	氏名	出欠
1	会 長	相 模 原 市 長	本 村 賢 太 郎	○
2	副 会 長	相 模 原 市 議 会 議 長	石 川 将 誠	○
3		相 模 原 市 自 治 会 連 合 会 会 長	坂 本 堯 則	×
4		連 合 神 奈 川 相 模 原 地 域 連 合 議 長	川 崎 晴 彦	○
5	理 事	相 模 原 市 副 市 長	下 仲 宏 卓	○
6		相 模 原 市 副 市 長	森 多 可 示	○
7		相 模 原 市 副 市 長	隠 田 展 一	○
8		相 模 原 市 議 会 議 員	布 施 初 子	○
9		相 模 原 市 議 会 議 員	今 宮 祐 貴	×
10		相 模 原 市 議 会 議 員	石 川 達	○
11		相 模 原 市 議 会 議 員	渡 部 俊 明	○
12		相 模 原 市 議 会 議 員	大 槻 和 弘	○
13		相 模 原 市 議 会 議 員	長 谷 川 く み 子	○
14		相 模 原 市 議 会 議 員	後 田 博 美	×
15		相 模 原 市 議 会 議 員	小 野 弘	○
16		相 模 原 市 議 会 議 員	金 子 豊 貴 男	○
17		相 模 原 市 議 会 議 員	大 崎 秀 治	×
18		相模原市教育委員会教育長職務代理者	永 井 博	○
19		相模原市農業委員会副会長	阿 部 健	○
20		相模原市立小中学校PTA連絡協議会会計	篠 崎 源 一	×
21		小山地区自治会連合会会長	安 藤 孝 洋	○
22		新磯地区自治会連合会会長	穂 苅 健 二	×
23		相武台地区自治会連合会会長	瀬 尾 守 一	○
24		相模原市農業協同組合専務理事	落 合 幸 男	×
25		相模原商工会議所会頭	杉 岡 芳 樹	×
26		相模原市消防団団長	清 水 映 彦	○
27		相模原南交通安全協会会長	鈴 木 貴 市	×
28		全駐留軍労働組合さがみ野支部執行委員長	山 本 一 雄	○
29		小田急多摩線延伸促進協議会会長	成 川 猛	○